

## 大会参加報告

## 第 38 回 全日本少年サッカー大会 参加報告

----- 「第38回 全日本少年サッカー大会に参加して」 ユース3級審判員：麻植 拓海 -----

この度は第38回全日本少年サッカー大会に派遣させて頂き、  
とても素晴らしい経験をすることができました。  
今大会について報告させていただきます。

期間：8月2日から8月9日

会場：時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド  
(1次リーグ～準々決勝、D トーナメント準決勝)  
愛鷹広域公園多目的競技場(準決勝、決勝、D トーナメント決勝)

宿泊：御殿場高原時之栖 スローハウスヴィラ



## ◆8月2日

この日は開講式の後、プラクティカル、競技規則テスト、  
講義がありました。

開講式では廣嶋主任インストラクターより今大会のテーマ  
はJOYという説明を受け、担当のインストラクターの紹介  
がありました。プラクティカルでは審判員達のアイスブレイク、  
シグナルの確認をしました。

夕食後は競技規則テストと講義があり、講義ではグリーン  
カードの出し方と大会のテーマのJOYから審判のおもしろ  
さ、審判の由来について学びました。

## ◆8月3日

この日はフィットネステスト、プラクティカル、講義があ  
りました。

フィットネステストでは40メートル6.9秒以内×6本と、  
インターバル(150メートル:40秒×50メートル:50秒)0  
×20本を行いました。その後山岸フィジカルインストラク  
ターより水分補給の重要性についての講義がありました。

プラクティカルではファウルの見極めと一人制審判法の動  
きを学びました。

夕食後は木村博之プロフェッショナルレフェリーの話があ  
り「自分がやるべきことに集中して焦らずにやって行くこと  
が大切」と言われました。

また菊地インストラクターの講義では「基本を大事にする  
ことが大切」と学びました。鈴木インストラクターの講義で  
は「良い準備」、「マネジメントサイクル (PDCA サイクル)」  
について学びました。



## ◆8月4日

この日より試合が始まり、各班4～5人の審判員と育成インストラクター、JFA インストラクターが8グループに分かれて試合に臨みました。

私達のグループBは-----

審判員：麻植拓海(兵庫県)  
岩泉慎之介(岩手県)  
高本ケビン(群馬県)  
新長裕太(広島県)  
和田元気(愛媛県)  
育成インストラクター：中間強氏  
JFA インストラクター：菊地秀夫氏

## 担当試合①

田宮ビクトリー(徳島県) 対 JFC フトゥーロ(神奈川県)  
9時30分キックオフ  
主審：高本ケビン  
補助審判員：麻植拓海

## 担当試合②

田宮ビクトリー(徳島県) 対 平章 SSS(福井県)  
14時30分キックオフ  
主審：麻植拓海  
補助審判員：岩泉慎之介

夕食後、木村博之プロフェッショナルレフェリーからこの日の試合の私達のレフェリングについての話がありました。

またFIFAワールドカップ2014ブラジル大会に参加された名木利幸プロフェッショナルレフェリーから将来目標とするレフェリーになるためには逆算して考えていかなければいけないという話がありました。

また広岡インストラクターよりコミュニケーション能力、レフェリーに求められる資質についての講義がありました。

## ◆8月5日

## 担当試合①

太陽 SC(鹿児島県) 対 オールサウス(滋賀県)  
11時30分キックオフ  
主審：麻植拓海  
補助審判員：岩泉慎之介

## 担当試合②

ヴィッセル神戸(兵庫県) 対 サガン鳥栖(佐賀県)  
16時31分キックオフ  
主審：岩泉慎之介  
副審1：高本ケビン  
副審2：麻植拓海  
第4の審判員：新長裕太

この日は午前中の試合の後、菊地インストラクターと柳沢インストラクターによる3人制審判法に対する講義がありました。また、夕食後、柳沢インストラクターから自分に向かい合うことの大切さについての講義、佐幸インストラクターからのびる人と伸びない人についての講義がありました。

## ◆8月6日

## 担当試合①

美川FC(石川県) 対 ふじかけSC山形(山形県)

9時30分キックオフ

主審：新長裕太

副審1：岩泉慎之介

副審2：麻植拓海

第4の審判員：和田元気

## 担当試合②

YF奈良テソロ(奈良県) 対 サンフレッチェ広島(広島県)

10時30分キックオフ

主審：高本ケビン

副審1：岩泉慎之介

副審2：和田元気

第4の審判員：麻植拓海

## 担当試合③

エスパンサFC(沖縄県) 対 潮江JFC(高知県)

14時30分キックオフ

主審：麻植拓海

副審1：高本ケビン

副審2：岩泉慎之介

第4の審判員：新長裕太

この日は夕食後、上川審判委員長からの話がありドイツワールドカップの話や様々なレフェリーに対する話を聞くことができました。また午前中の試合と午後の試合の間に技術委員会の方が講義をして下さり日本サッカー協会が目指すスピーディー、フェア、タフの3本柱の話がありました。

## ◆8月7日

## 担当試合

SSS札幌(北海道) 対 スネイル(長崎県)

9時30分キックオフ

主審：新長裕太

副審1：高本ケビン

副審2：麻植拓海

第4の審判員：和田元気

午後はフレンドリーマッチ3試合を4人の審判員で担当しました。

夕食後はイングランドのPGMOLレフェリーコーチのグラハムローズ氏より、イングランドのレフェリーや試合についての話や、ポジティブに望む事が大切という話がありました。

## ◆8月8日

この日はドリームトーナメント決勝、準決勝があり、班員以外の審判員を見ることができとても良い勉強ができました。

また夕方には今大会に出場している選手たちにリスペクトについて考えて貰おうという企画で16人位の選手にユース審判員が1人から3人ついてリスペクトに対してJFAの人から話を聞いたり、自分たちで考えてみようと言う企画のリスペクトワークショップがありました。

## ◆8月9日

決勝戦の日でしたが、台風の影響で九州、中国、四国の審判員がその日の朝に帰らないといけなくなりました。今まで一緒に頑張ってきた仲間と早く別れないといけなくなり、全員で大会を終えたかったので、とても残念でしたが、この日は残りのメンバーで活動しました。

決勝戦の観戦があり、昨日に続き班員以外の審判員を見ることができとても良い勉強ができました。

## 【大会を振り返り】

7泊8日と、とても長い日数の研修会でしたが終わってみるとあっという間でした。しかし全国の同世代の審判員38人と共に活動できたことはとても良い経験になり、たくさんの事を学ぶことができました。

今回の大会で目標としてきた準決勝、決勝の試合を担当することはできませんでしたが、この悔しさをばねにより一層努力していこうと思います。そして今回活動した審判員と共にまたピッチに立てるようによりレベルの高い審判員になれることを目指して頑張ります。

最後に全日本少年大会という素晴らしい大会に推薦して下さった兵庫県サッカー協会の皆様、そして大会に先立ち1人制審判法の指導をして下さった姫路市サッカー協会の皆様、本当にありがとうございました。

以上



今回共に研修したBグループの審判員とインストラクター(最終日に撮影)

ご参考：JFA TV「第38回全日本少年サッカー大会 ユース審判の育成」

<https://www.youtube.com/watch?v=Lu3mNvrPpUI>